

院長 保坂征司



明けましておめでとうございます。

当院は満15周年を迎え16年目に突入しました。地域の皆様の支えとこれまでの職員の努力により、地域に必要とされる病院へと成長してきているように感じます。昨年では平成から令和へと時代も移り変わり、また新たな目標を掲げて次の時代を築いていきたいと考えております。

宇和島医療圏は加速度的な人口減少時代を迎えており、地域医療再編の動きもある中で医師の働き方改革も4年後には実行に移さなくてはなりません。このような変化に対応しつつ、地域の皆様が安心して生活できるよう、『健康と生活を守る病院』としての役割を果たしていく所存です。

また、南海トラフ地震・津波への対策も急務です。宇和島圏の病院の多くが、想定される最大の津波に襲われた場合かなりの機能を失う可能性を指摘されています。当院も早急にその対策に取り組んでいるところです。

私自身、昨年4月に赴任して以降宇和島で生活していく中で、穏やかに勤勉な“南予気質”の職員にこの病院が支えられていることを強く実感しました。これからこの地域に降りかかってくるさまざまな課題も、この“南予気質”をもってすれば難なく克服することができるかと信じています。近隣病院を含めた各種医療機関とも密に連携し、当院が今後ますます地域に欠かせない病院となれますよう、質の高い医療の実践を目指し全職員一丸となって研鑽に努めていきたいと考えております。

どうぞこれからも当院をご支援賜りますようお願い申し上げます。



総長 貞島博道



明けましておめでとうございます。

開院以来「地域に根ざした病院」を目標にスタッフ一丸となって一生懸命努力した結果、地域の皆様にご支援頂きこの地に無くてはならない病院へと成長することが出来ました。

昨年4月、保坂院長が就任され今までの地域医療のみではなく外科疾患にも対応できる病院となりました。

外科医としても診療技術はもちろんのこと、スタッフをまとめる力もあり、さらに地域に根ざした病院づくりに邁進できるものと期待しております。今年どんな病院に変わっていくのか楽しみです。

「当院は地域と共にあり。」

今年もよろしく願いいたします。



看護部長 相原雅永



謹んで新春のお慶び申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。

宇和島市は日本の30年後予想を上回る超高齢者社会を迎えました。

その中で、急性期から慢性期、在宅支援へと継続したケアが提供できる当院の役割は大きく、今後も多職種・地域連携をしながらその役割を果たしていきたいと思っております。

昨年は多くの中学校・高校の職場体験、インターンシップ、「看護師のお仕事講座」褥瘡・認知症・感染予防などの医療講演を行いました。今年も未来を担う子供たちの育成、地域の皆様の健康の維持・増進に貢献できるよう職員と共に取り組んでまいります。

新たな一年が皆様にとって幸多き年になりますよう心より祈念しまして年頭のご挨拶といたします。



宇和島徳洲会病院在宅部門

居宅介護支援事業所 ケアプランセンター パール

ケアプランセンターパールには主任ケアマネージャー 1 名、ケアマネージャー 3 名、事務員 1 名の計 5 名が在籍しています。ケアマネージャーは利用者様が過ごすご自宅等に伺い、住宅環境を確認し、困りごとはないか、生活をするにあたって不都合なことはないか（例えば、住宅に段差がたくさんあるので自分で動けない、足が悪くなって入浴が出来ないなど）を確認して解決手段を提案し、様々な視点から利用者様の暮らしを支援するチームづくりを行います。一人暮らし・障害があってもご自身の力、介護保険制度や地域の力を活用することで生活を続けることができます。あきらめずにご相談ください。

宇和島徳洲会通所リハビリテーション

当院の通所リハビリテーションでは、理学療法士・作業療法士による専門的なリハビリテーション（個別リハビリテーション）、パワーリハビリ（筋力維持）をはじめ、看護師による定期的な健康チェックや、介護職員による個人の能力に応じた介護を行い、利用者様が安心して住宅生活を継続することが出来るように支援しています。今年もよろしくお願ひします。

宇和島徳洲会病院訪問看護ステーション

訪問看護ステーションは、看護師 5 名・理学療法士 2 名の計 7 名のスタッフで活動しています。

訪問看護は、かかりつけ医の指示に基づいた的確なケアとアドバイスで自立した生活が送れるよう支援します。又、筋力や体力の維持向上運動「食べる・着替える」といった日常生活動作、趣味活動まで幅広く、お一人お一人に合わせた生活リハビリを行っています。24 時間 365 日安心して療養生活を送れるよう援助します。訪問看護をご希望の場合は、主治医や担当ケアマネージャー・病棟スタッフにご相談ください。

【新任医師紹介】



梅本 覚司（ウメモト サトシ）

熊本大学医学部卒

医学博士 日本外科学会 外科専門医

宇和島徳洲会病院では、研修医の頃に僻地離島研修を学ばせていただきました。以来、10年くらいになりますが、この街の風土や人々の温かさに魅かれ、ずっと関わりを持たせていただいております。この度、外科医として赴任することになりました。微力ながら、皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。



ホームページアドレス
<https://www.uwatoku.org/>



<https://www.uwatoku.org/>